

【B年】

顕現後第三主日

限りなくいます全能の神、天においても地においても万物を支配しておられる主よ、どうか慈しみをもって主の民の願いを聞き入れ、主による平安をこの時代にお与えください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 「旧約聖書はエレミヤ書第三章二十一節から」

21 裸の山々に声が聞こえる

イスラエルの子らの嘆き訴える声が。彼らはその道を曲げ

主なる神を忘れたからだ。

22 「背信の子らよ、立ち帰れ。

わたしは背いたお前たちをいやす。」

「我々はあなたのもとに参ります。あなたこそ我々の主なる神です。

23 まことに、どの丘の祭りも

山々での騒ぎも偽りにすぎません。まことに、我々の主なる神に

イスラエルの救いがあるのです。24 我々の若いときから

恥ずべきバアルが食い尽くしてきました先祖たちが労して得たものを

その羊、牛、息子、娘らを。25 我々は恥の中に横たわり

辱めに覆われています。我々は主なる神に罪を犯しました。

我々も、先祖も若いときから今日に至るまで

4 主なる神の御声に聞き従いませんでした。」

1 「立ち帰れ、イスラエルよ」と主は言われる。

「わたしのもとに立ち帰れ。呪うべきものをわたしの前から捨て去れ。

2 もし、あなたが真実と公平と正義をもって

「主は生きておられる」と誓うなら
諸国の民は、あなたを通して祝福を受け
あなたを誇りとする。

朗読者 「旧約聖書を終わります」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

第一三〇編

- 1 主よ、深い淵からあなたに叫び＝ 嘆き祈るわたしの声
を聞いてください
- 2 主よ、あなたが目を留められるなら＝ 主よ、だれがあ
なたの前に立ちえよう
- 3 しかし、あなたの赦しのために＝ 人はあなたを畏れか
しこむ
- 4 わたしは主を待ち望む、わたしの魂は待ち望む＝ わ
たしはみ言葉に寄り頼む
- 5 夜回りが暁を待ち望むにもまして＝ わたしの魂は
主を待ち望む
- 6 イスラエルよ、主に寄り頼め＝ 主はゆたかな贖いに満
ち、慈しみ深い

7 神は、すべての罪から＝ イスラエルを救われる

使徒書

朗読者 「使徒書はコリントの信徒への手紙Ⅰ第七章十七節
から」

17 おのおの主から分け与えられた分に応じ、それぞれ神に
召されたときの身分のまま歩みなさい。これは、すべての
教会でわたしが命じていることです。18 割礼を受けている者
が召されたのなら、割礼の跡を無くそうとしてはいけません。
割礼を受けていない者が召されたのなら、割礼を受けようと
してはいけません。19 割礼の有無は問題ではなく、大切な
は神の掟を守ることです。20 おのおの召されたときの身分に
とどまっていなさい。21 召されたときに奴隷であった人も、
そのことを気にしてはいけません。自由の身になることがで
きるとしても、むしろそのままいなさい。22 というのは、主
によって召された奴隷は、主によって自由の身にされた者だ
からです。同様に、主によって召された自由な身分の者は、キ
リストの奴隷なのです。23 あなたがたは、身代金を払って買
い取られたのです。人の奴隷となつてはいけません。

朗読者 「使徒書を終わります。」

一同立つ。
ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖マルコによる福音書第一章十四節以下に記され

た主イエス・キリストの福音。 主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

14 ヨハネが捕らえられた後、イエスはガリラヤへ行き、神の福音を宣べ伝えて、15 「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」と言われた。

16 イエスは、ガリラヤ湖のほとりを歩いておられたとき、シモンとシモンの兄弟アンデレが湖で網を打っているのを御覧になった。彼らは漁師だった。17 イエスは、「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしよう」と言われた。

18 二人はすぐに網を捨てて従った。19 また、少し進んで、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネが、舟の中で網の手入れをしているのを御覧になると、20 すぐに彼らをお呼びになった。この二人も父ゼベダイを雇い人たちと一緒に舟に残して、イエスの後について行った。

司祭 「主に感謝」
会衆 「主に感謝します」